

第 64 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 材料分科会 議事録

1. 日 時: 2012 年 5 月 8 日(火)13 時 30 分～15 時 30 分

2. 場 所: 日本機械学会 第 2 会議室

3. 出席者: 木村(NIMS)、尾崎(東電)、田村(パブ日立)、俣野(KHI)、伊藤(IHI)、北村(関電)、
戸田(NIMS)、竹田(中電)

欠席者: なし

代理者: 榊原[清水(MHI)]

オブザーバ: なし

事務局: 海野(記)

4. 配付資料

64-1 . 第 63 回材料分科会議事録(案)

64-2 . 材料分科会委員名簿

64-3 . 第 59 回火力専門委員会議事録(案)

64-4 . 第 14 回材料専門委員会議事録(案)

64-5 . 第 60 回規格委員会議事録(案)

64-6 . パブリックコメント募集結果

64-7 . JESC 技術会議審査結果

64-10 . 次回改訂作業について

参考 . 規格委員会HP用次期システム試運用版操作手順書

5. 議 事

(1) 前回議事録確認

[資料 64-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、特に指摘事項はなく議事録案は承認された。

(2) 分科会委員の承認

[資料 64-2]

俣野委員の再任意向が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、南委員の退任が報告された。前回の材料分科会の際、三役強化のために副主査を選任することとなっていたが、南委員の後任としてミルメーカからの委員就任を調整しており流動的な状況であることから、後任委員の就任が確定してから副主査を選任する方針であることが木村主査から説明され、出席委員全員に了承された。

(3) 火力専門委員会・規格委員会他報告

(3-1) 火力専門委員会

[資料 64-3]

第 59 回火力専門委員会の審議内容のうち、材料分科会に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 材料分科会委員の承認(再任: 木村委員, 田村委員, 新任・退任なし, 主査: 木村委員再任)

- ・ 第 63 回材料分科会報告
- ・ 火力専門委員会書面投票結果報告
- ・ 規格委員会書面投票結果報告及び意見対応案
- ・ JESC用説明資料案の審議について

(3-2) 材料専門委員会報告

[資料 64-4]

第 14 回材料専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ ASME の Code meeting にて Grade 92(Code Case 2179-7)は、本体規格への取込みは当面見送られる状況であり、ASME Sec. I (JSME 規格第3章)の PG-20(冷間加工後の熱処理要求規定)での Grade 92 に関する規定は PG-20 から削除され、Grade 23 と同様 Code Case で規定されるようになる見込みとの情報提供がなされた。
- ・ RQ09-C2-003:既存設計規格の中の材料関連事項の見直しに関し、確認担当委員を決定した。
 - ・ 木原委員, 石毛委員:HPI
 - ・ 齋藤委員, 田村委員:ボイラ関連
 - ・ 山田委員:原子力関連
- ・ RQ09-C3-002:PG-20「高強度フェライト耐熱鋼の冷間加工」の取り入れについて火力専門委員会への回答文案を田村委員が作成する。Grade 23 については別課題として扱うこととした。
- ・ 材料事象の解説について審議
- ・ 金属キャスクバスケット用新規材料の規格化について審議
- ・ 高温の場合 Su 値のみ 1.1 倍する根拠について審議
- ・ 高速炉規格における新規材料の規格化について審議

(3-3) 規格委員会報告

[資料 64-5]

第 60 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 火力設備規格案の書面投票結果に関する審議
- ・ 詳細規定案材料分科会関連の書面投票意見対応案と反対意見の取下げ及び投票可決の報告
- ・ 詳細規定案材料分科会関連の意見対応に伴う編集上の修正が承認
- ・ 基本規定・基本規定事例規格・詳細規定について公衆意見募集開始を承認
- ・ 基本規定・基本規定事例規格・詳細規定についてJESC審議依頼することを承認

(3-4) パブリックコメント募集結果報告

[資料 64-6]

発電用設備規格委員会運営規約に則り、発電用火力設備規格関連3件のパブリックコメント募集を行った結果について報告した。

なお、パブリックコメント募集にあたり、第60回規格委員会にて承認を受けており、運営規約に定められた開始時期及び規格種別により決められた意見受付期間(3件とも1ヶ月)を満たしていることを併せて報告した。

＜パブリックコメント募集対象(3件)＞

- ・ 基本規定(2012年版)
- ・ 基本規定(2012年版) 事例規格 発電用火力設備における高クロム鋼に対する寿命評価式について
- ・ 詳細規定(2012年版)

＜各パブリックコメント募集受付結果(3件共通)＞

受付期間:3月26日(月)～4月26日(木)

受付結果:意見なし

(3-5) 日本電気技術規格委員会(JESC)技術会議審査結果報告 [資料 64-7]

発火基準の性能規定化に伴い民間規格が発火基準および解釈において活用・引用されるために公平・中立・透明に審査を行う第三者審査機関としてのJESC(およびJESC技術会議)の位置付けについて説明した。第60回規格委員会にてJESCに審議依頼することが承認されていること及びすでに開催されたJESC技術会議での審査結果を報告した。

＜審査対象＞

- ・ 日本機械学会 発電用火力設備規格 基本規定(2012年版)とその事例規格, および詳細規定(2012年版)に関する省令への適合性

＜審査結果＞

審査日:2012年4月24日(火)

審査機関:第31回JESC技術会議(JESCの一次審査)

審査結果:特に意見無しで、出席委員全員の賛成により承認された

＜今後の予定＞

JESC(本委員会):2012年5月31日(木)にて最終審査実施予定。

承認されればJESCから原子力安全・保安院電力安全課に活用要請される予定。

(3-6) 発電用火力設備規格 2012年版出版に向けたクリア版原稿の作成について[資料無し]

発電用火力設備規格 2012年版用クリア版原稿の叩き台を事務局にて作成しており、今後各分科会三役にて体裁を含め、統一的なレビューをするとともに、担当委員への作業依頼について事務局から報告した。

(3-7) 次期システムについて [資料:参考]

発電用設備規格委員会ホームページ機能としてファイル共有システムを今年度秋頃導入予定であり、既に一部委員会にて試運用がなされたことを事務局より報告した。今後、必要なカスタマイズと規格委員会全体の共通運用ルールを定めていくことについて情報提供した。あわせてファイル共有システムの機能の簡単な説明と今後共通運用ルール以外の運用ルールを火力専門委員会内で統一したい旨、協力を要請した。

(4) 審議事項

(4-1) 次回改訂作業について

[資料 64-10]

a. 分担について

尾崎幹事より次回改訂作業における分担の変更案が説明された。審議フローは以前定めたもので変更が無いが、今後導入されるファイル共有システムの運用によって変更する可能性がある旨、説明された。分担案について本案を基本とし南委員の後任委員が決定してから最終決定することとした。

b. 引用規格について

(a) ASME 規格の最新版は 2011Addenda であり、尾崎幹事から ASME 規格は今後 Addenda を発行せず、Eddition 版を2年おきに発行する予定であるとの情報提供がなされた。ASME 規格の引用年版は構造及び溶接分科会と整合させる必要があるため、火力専門委員会で審議決定することになるが、材料分科会としては 2011Addenda を引用する方針について出席委員全員の賛成により承認された。

(b) 従来 JSME 規格改訂作業方針として発火基準はその時点での改訂版を引用することとしているが、JSME 規格 2012 年版にて引用した平成 19 年度版からの改訂に関する情報が現時点では無いことから、引き続き情報の収集にあたることとした。

6. 次回開催予定

日 時: 2012 年 8 月 22 日 (水) 13:30～17:00

場 所: 日本機械学会 第 3・4 会議室

以 上